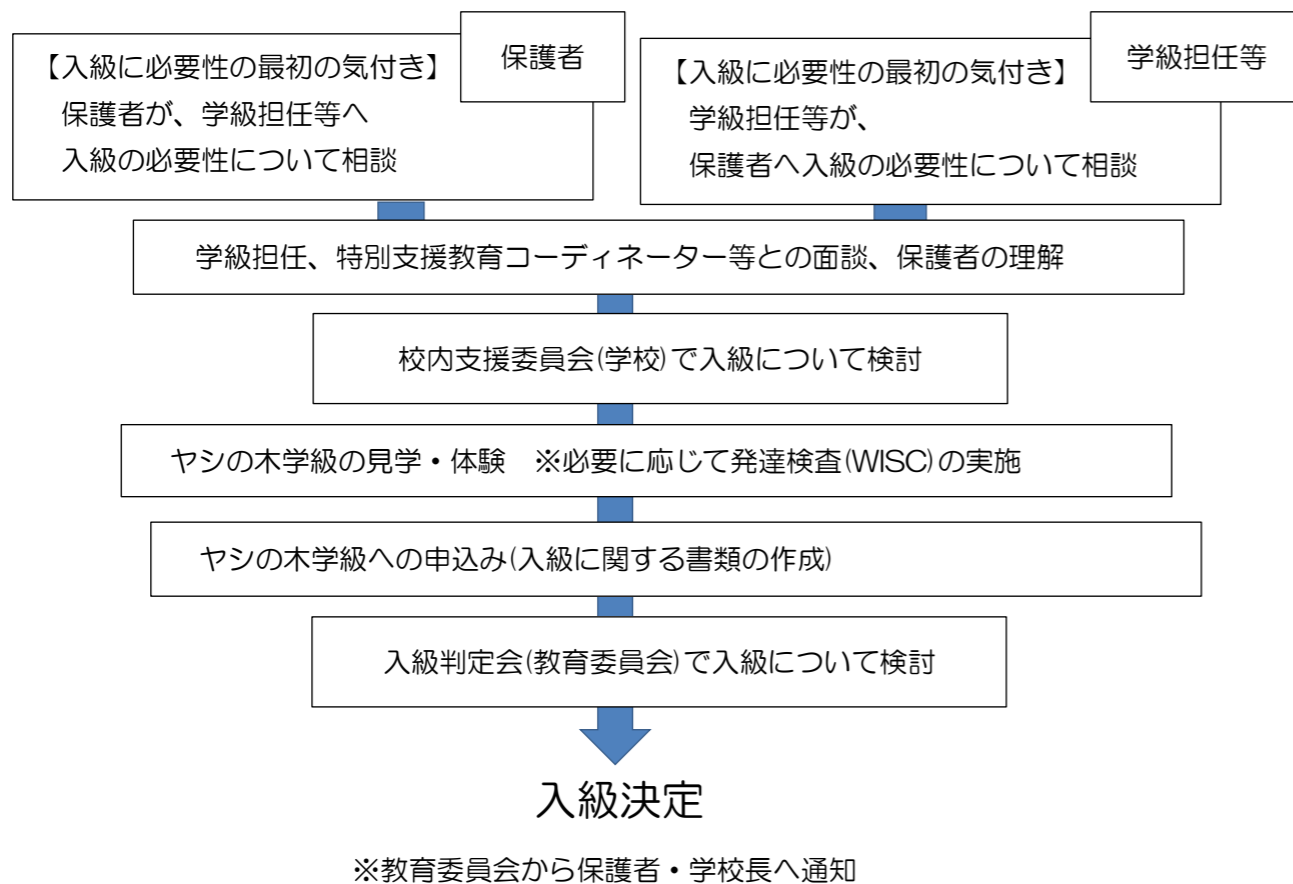
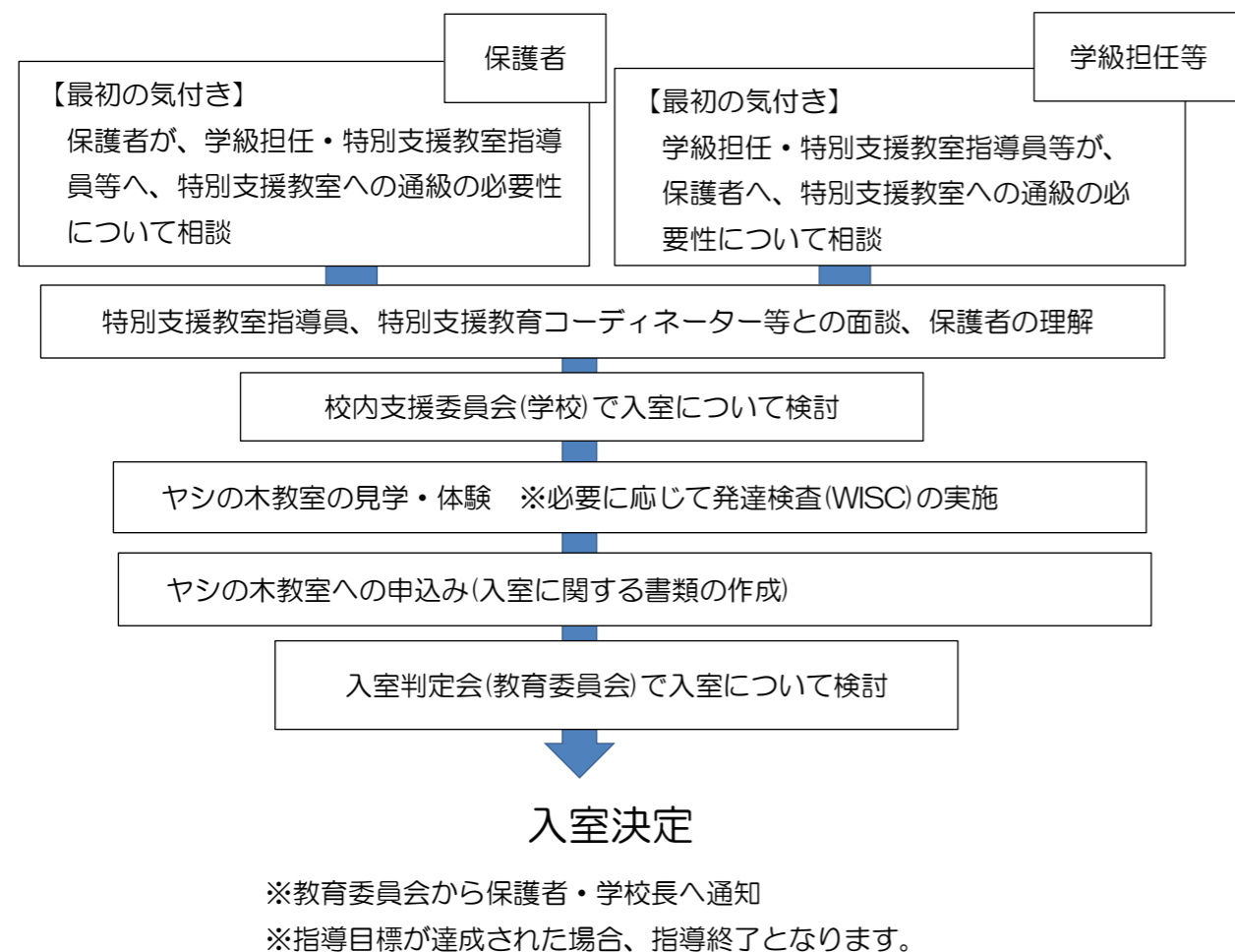


【特別支援学級】入級の相談と手続きについて



【特別支援教室】入室の相談と手続きについて



令和7年度 小笠原村立小笠原小学校 特別支援教育

特別支援学級「ヤシの木学級」

- 1組 知的障害学級
- 2組 自閉症・情緒障害学級

要覧

特別支援教室「ヤシの木教室」



小笠原村立小笠原小学校

〒100-2101 東京都小笠原村父島字宮之浜道
 TEL 04998-2-2012
 FAX 04998-2-3055
 HP <http://www.ogashou.ogasawara.ed.jp/>



World Natural Heritage Ogasawara Islands
 世界自然遺産 小笠原諸島



共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システムの構築のための特別支援教育の充実

教育目標

自分を大切にし、思いやりの心をもとう
夢や目標を持ち、たえず学び続けよう
心と体を鍛え、爽やかな感動を生もう

学校経営の理念

子供たちの将来につながる基礎をしっかりと身に付け、夢や可能性を広げる

【学校経営の基本方針】

- 1 「豊かな学力」の向上
- 2 「豊かな心」の育成
- 3 「健やかな体」の育成
- 4 「支援体制」の充実
- 5 「学校・家庭・地域社会」との連携強化
- 6 「学校力・教師力」の向上



児童数（令和7年度）

ヤシの木学級（1組）	
ヤシの木学級（2組）	
ヤシの木教室	

ヤシの木学級1組（知的障害学級）

このような児童の育成を目指します

- 「やさしい子」・・・友達と仲良くする優しい子
- 「かんがえる子」・・・人や地域とつながる考える子
- 「げんきな子」・・・身の回りのことを進んで行う元気な子

学級の教育方針・学習について

- 自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、生活に根ざした学習を重視し、児童の実態に応じた学習指導を展開することで、自立に向けての素地を培います。
- 児童の障がいや特性に応じたスモールステップでの能力伸長をねらいとした学習を行い、児童の自己肯定感を高め、豊かな感性や情操を育てていきます。
- 日常生活に必要な基本的な生活習慣を身に付け、社会生活に必要なスキルを学ぶために、生活場面と結びついた具体的・体験的な学習や問題解決的な学習を行っています。また、地域とのかかわりを重視した活動を行っています。
- 学校生活支援シート（個別の教育支援計画）・個別指導計画を作成し、保護者及び関係機関と連携を図りながら個に応じた指導を進めていきます。
- 交流及び共同学習を通して、多くの児童との関わりの中で共生の心を育て、コミュニケーションスキルやソーシャルスキルを伸ばしていきます。

ヤシの木教室（特別支援教室）

このような児童の育成を目指します

- ・自分にできることは最後までやり遂げる児童
- ・助けを受け入れられる児童
- ・苦手なことにも取り組もうとする児童
- ・自分も友達も大切にできる児童

学級の教育方針・学習内容

- 個に応じた指導の徹底**
きめ細やかな情報収集に基づき、正確な実態把握の元指導にあたる。また、児童の実態に応じて小集団のグルーピングを行い、個別指導計画に基づいた指導を行う。
自立活動の内容（6区分27項目）①健康の保持 ②心理的な安定 ③人間関係の形成 ④環境の把握 ⑤体の動き ⑥コミュニケーション の活動を中心に行う。
- 情緒障害教育の専門的機能を果たす**
保護者からの相談内容や各教科と関連付けて自立活動の指導を行う。また、特別支援教室を利用する児童の特性や特別支援教室運営の理解推進を図る。
- 望ましい教室環境の整備**
刺激の遮断、施設設備の充実、校内施設の利用等、指導環境の整備を行う。また、在籍学級の学校生活や家庭環境を含めた教育環境の整備、調整を行う。
- 在籍学級との連携**
在籍学級での行動観察の実施、在籍学級担任とのケース会議、連絡ファイルによる毎回の連絡、個別指導計画による共通理解を図る。
- 保護者や関係機関との連携**
学期に1回の保護者面談、個別指導計画による共通理解、連絡ファイルや電話での情報共有を行う。また、教育委員会や関係機関、村内特別支援学級・教室との連携を図る。

ヤシの木学級2組（自閉症・情緒障害学級）

このような児童の育成を目指します

- 「やさしい子」・・・自分のことも友達のこと大切にし、認め合う子
- 「かんがえる子」・・・自分に合った学び方を習得して、意欲的に学ぶ子
- 「げんきな子」・・・友達と関わりながら生活する子

学級の教育方針・学習について

- 自閉症や情緒障害の認知特性や実態に応じた学習環境や指導形態の工夫を行い、能力の伸長を図ります。
- 児童の障害や特性に応じたスモールステップでの能力伸長をねらいとした学習を行い、児童の自己肯定感を高め、豊かな感性や情操を育てていきます。
- 通常の学級と同様の教科指導に加え、社会への適応力を高めるために自立活動の時間を設け、心理的安定やコミュニケーション能力を育てます。社会生活に必要な知識・技能・態度・習慣等を具体的に指導します。
- 保護者や本人と相談したり、関係機関と連携したりして学校生活支援シート（個別の教育支援計画）・個別指導計画を作成し、共通理解のもと児童の発達段階と障害の特性に応じた指導・支援を行います。
- 交流及び行動学習を通して、多くの児童との関わりの中で共生の心を育て、コミュニケーションスキルやソーシャルスキルを伸ばしていきます。

通常の学級との交流 （ヤシの木学級）

	交流の場	参加のしかた
行事	儀式的行事・全校朝会 音楽朝会、体育朝会、児童集会	該当学年に入って参加
	小中高連合運動会 学年行事（遠足、社会科見学など）	各学年の表現運動・競技に参加 該当学年に入って参加
全校活動	たてわり班活動	複数の班に分かれて参加
特別活動	クラブ活動	4年生以上が参加
	委員会活動	5年生以上が参加
各教科	共同学習	児童の実態に応じて参加
総合	小笠原学習など	学級単位で参加
その他	弁当	児童の実態に応じて参加
	掃除	6年生が3～4名ヤシの木学級に来て一緒に活動